

ストリートダンス
ワークショップ
参加者募集!!

講師陣全員が世界クラス!!



STREET DANCE FESTIVAL

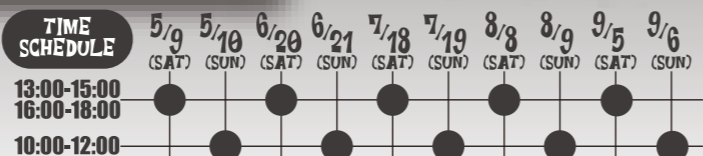
【募集締切】
4.15 (WED)
必着

講師(左から): Twin Twiggz, KAZANE, KATSUYA, TAISUKE, IBUKI, RUU, NORI

【ワークショップ】2015.5.9 @ 2015.9.6 [全10回]

【本公演(講師陣と一緒に踊れる成果発表)】2015.10.4 @ 15:30 START ※10/3にリハーサルを行います

小美玉市小川文化センターアピオス



Participation 参加条件 Condition

- ◆申込方法 / 募集チラシ掲載の参加申込書に必要事項を記入の上、アピオスにお申込みください(来館 or 郵送 or FAX or メール)
※未成年の場合は保護者の承諾が必要のため、メールでの申込不可
- ◆定員 / 初心者コース10名・経験者コース30名
※定員を超えた場合は抽選となります。抽選結果は、郵送にてご案内いたします
- ◆参加費 / 10,000円(全10回分・保険代込)
※参加費は初日に集めます。途中欠席した場合でも返金いたしませんので、予めご了承ください。小道具や衣装等は、別途自己負担となる場合があります
- ◆対象 / 小学3年生以上、ワークショップ・リハ・本番の全日程に参加できる方。男女市内外問わず、未経験者大歓迎!!
- ◆その他 / 動きやすい格好(ジャージ・スニーカー等)、飲食料(昼食含む)・タオル・着替え・交通費等は各自負担、保護者見学OK!!
- ◆お問合せ・申込先 / 小美玉市小川文化センター(アピオス) 〒311-3423 茨城県小美玉市小川1225
TEL:0299-58-0921 FAX:0299-58-0923 E-Mail:apios@city.omitama.ibaraki.jp

REPORT

市内の幼保小中35箇所56クラスに向いた学校アクティビティ事業の集大成!!

長須与佳 縁(えにし)コンサート

2月28日にアピオスで行われた『縁(えにし)コンサート』では、尺八や琵琶の美しい音色や、長須さんの楽しい語りで会場はあたたかい雰囲気に包まれていました。尺八の体験コーナーでは、竹原幼稚園の彩希ちゃん(6才)も参加し、「むずかしかったけど、音が少し出ました。勇気を出してステージの前に出て良かったです」と嬉しそうに話してくれました。今年、初めて出向いた学校が多かった長須さんは、「たくさんのお出会いがあり、いろいろな縁で繋がることができました。尺八や琵琶をやっていると本当に良かった」と喜んでいました。来年の学校アクティビティ事業も楽しみです。<みのんば編集部 藤田 佐知子>



2015.2.28 Apios

REPORT

Youtubeで人を惹きつける型破りな集客方法!?

創客塾(講師:後藤みち男氏)

インターネット通販最大手のamazonで、経理・アカウント部門1位を獲得した後藤みち男さんを講師にお迎えした今回の「創客塾」。インパクトのあるタイトルのつけ方から、集客するために大切な戦略の立て方、そして、段階をふんで進める戦術など、今後、直に役立つ内容を受講生に伝授していただきました。参加者の一人、増田隆一さんは、「動画は、これまで見栄えを気にしたり、長時間のものをつくることを考えたり、相当のテクニックが必要なんじゃないかと二の足を踏んでいました。これを契機に気軽に動画を作れそうです」と話してくれました。<みのんば編集部 野手 利江>



2015.3.1 Minele

REPORT

常田富士男 民話劇場 in コスモス

公演終了後の特別座談会

市内で活動する「読み聞かせ団体」や幼稚園・保育園の先生方と、公演を終えたばかりの常田さんとで、なんと座談会の開催が実現!約20名の参加者を前に常田さんは、近ごろ『人』と触れ合うことがとにかく楽しんだと語っていました。一方で、逆に尋ねたりすることを心がけておられるそうです。そうすることにより、聞く耳を持ってくれるということを実感されているそうです。「お手本は特別なんです。ただ相手のことを楽しみたい。そうすればお互いが楽しんでいられるでしょう」とお話しされたことがとても印象的でした。

<みのんば編集部 立原 宏昌>



2015.3.1 Cosmes

APIOS

まるごと文化情報局

文化が薫るまちづくりを進める小美玉市。劇場から飛び出して、文化を発信している「ひと・もの・ところ」等を紹介して行きます。

vol.01 地域に根ざした喫茶店が文化を発信中!! カフェギャラリー・ベルデ

これまでにチョコレート展やひょうたんランプ展が行われた、中央高校近くの『カフェギャラリー・ベルデ』。これらの展示企画は、作家の選定、交渉、レイアウトまでを近隣住民がコーディネートしているそうです。「プロの方も趣味でものづくりをしている人たちも、気軽に作品を展示でき、発表の場となればと思います。ふらっと来られたお客様でもコーヒーを飲みながら楽しんでもらえたら…」と店主は話してくれました。4月1日から4月15日までは、「身近に親しめるかな展」と題し、市内在住の市村同子(ついで)さんによる展示企画が予定されています。皆さんもぜひ、コーヒー片手に優雅なひとときを。<みのんば編集部 藤田 佐知子>



▲ベルデでの「チョコレート展」の様子①



▲ベルデでの「チョコレート展」の様子②



▲ベルデでの「チョコレート展」の様子③